

学校給食無償化へ初の条例提案

自・公・保守は議論もなく黙って否決

「義務教育は無償」と憲法で謳われており、学校給食は食育として教育の一環と位置付けられています。

日本共産党は三田議員とともに、12月議会で学校給食無償化の条例案を初めて提出しました。

は、条例案に対する質疑や反対意見もなく、提案者と菅野議員だけの賛成で否決されてしまいました。

食費無償化の動きが出ていながら、無償化の是非について、まともな議論も無く、黙殺するような議会で良いのでしょうか。

地球の温暖化を止めよ

八千代市独自の対策を

地球温暖化対策の国際会議（COP26）は、「今世紀後半までに世界の気温上昇を産業革命以前と比べて1.5度に抑える努力をす

る」ことを目標に掲げ、気温上昇を抑えるため各国にCO2排出量の削減を求めています。

日本は、世界で5番目のCO2排出国です。世界の

批判を受け、2030年までの削減目標を26%から46%に引き上げますが、石炭火力発電所の増設を進めており不名誉な「化石賞」

未納や滞納による心理的負担の解消や経済的負担の軽減となること、文科省の報告（2017年7月）でも明らかになっています。

さらに昨年6月、千葉県議会でも県教育長は、給食無償化支援の検討を始めると答えています。千葉県内では、18市町が無償化を実施

しており、政令市の千葉市でも昨年4月より第3子以降の給食費無償化が始まっています。

しかし、八千代市議会で

市庁舎や公共施設などへのソーラーパネルの設置や営農しながら農地を発電に活用するソーラーシェアリングに取り組んでいる八千代市の農家を支援するなど、市独自の取り組みを進めるべきです。

市庁舎や公共施設などへのソーラーパネルの設置や営農しながら農地を発電に活用するソーラーシェアリングに取り組んでいる八千代市の農家を支援するなど、市独自の取り組みを進めるべきです。

日本共産党
八千代市議団
ニュース
 2022年(新春号)
 12月議会の活動を中心に作成しています
 発行:日本共産党八千代市議団
 ☎047(483)1151
 市役所議員控室 内線3416
<http://jcp-yachiyo.jp/>
 市政へのご意見、ご要望をお寄せください



生活困窮者への

10万円給付が実現

コロナ禍のなかで、中小業者や臨時・パートで働く非正規の方の生活は危機に瀕しています。

誰もが安心して生活できるように、生活困窮者に対する給付を実現することを求めました。

国は、生活困窮者自立支援金や緊急小口資金の制度を活用しよう求めています。貸付のためいづれは返さなければなりません。

国民の声に押され国は、12月の臨時国会で、生活困窮者（生活保護利用者を含む）に対する10万円給付の実施を決めました。

就学援助制度の拡充を

就学援助助成制度の入学準備金は、現在入学直前に支給されています。

中学校の入学準備金の支給額は現在6万円。市内の中学校で、入学にかかる最低費用は5万7394円。最高額は7万6128円と

申し込みが始まる12月に前倒して、支給を行うよう求めましたが、教育長は、実施する気のない冷たい答弁

をしました。中学校の入学準備金の支給額は現在6万円。市内の中学校で、入学にかかる最低費用は5万7394円。最高額は7万6128円と

都市計画道路

開通へ向けて

八千代緑が丘駅から高津団地方面へ向かう途中には、なかなか繋がらない都市計画道路があります。

この道路が12月議会の補正予算によって、いよいよ工事が開始されます。

なお、今回の予算では、用地の90センチ掘り下げと下水道工事のみです。

開通は来年度以降の予算次第になりますが、せめて



歩行者だけでも通行できるようになればと思います。地域の利便性向上のために、引き続き市民の声を届けていきます。

機械的な差し押さえをやめよ

八千代市では、コロナ禍における徴収猶予の「特例制度」を活かしきれず、市税滞納者に対する差し押さえ件数が増えています。また、コロナ禍以前の滞納者は、「特例制度」の対象者ではないと決めつけ、徴収猶予をしていません。税の分納についても市民相談で約束した金額を勝手に増額し、差し押さえに追い込むなど、納税者に冷たい対応が目立ちます。

これでは市が「相談してくれば差し押さえはしない」と言っても市民は安心して相談することはできません。また、相談に来ない市民を悪質と判断し、機械的に差し押さえる方針は改めるべきです。債権管理条例制定時の市の解説は、①納付交渉や納付相談、②資力の見極め、③徴収猶予、④差し押さえ となっています。

差し押さえありきではなく、納税者目線に立った親切丁寧な対応を求めます。

12月議会で、防災・防犯の観点からも市が積極的に対応すべきではないかと訴

力です。日本共産党は、住民の安全・安心の確保に向け、全力で頑張ります。

八千代台東の住民の方から、「近隣公園への道路として使っていたのに、突然閉鎖されてしまい、困っている」との声が寄せられました。

「地元の町会等を通して要望があれば検討したい」と述べています。

避難通路の確保を

八千代台東3丁目

日本共産党 八千代市議団

植田 進 (事務所) ☎047-1488-719754 ☎047-1488-51089

堀口 明子 (事務所) ☎047-767-5030 (FAX)

いはら 忠 ☎047-1488-72007 ☎047-1494-80009 (事務所)

いしかわ英樹 ☎080-1239-8132

無料法律相談会
 弁護士が相談に応じます

(日時) 奇数月 第3木曜日 午後2時～4時
 (場所) 市役所4階 日本共産党控室
 ブラック企業雇用問題・サラ金・医療・介護・年金・税金・教育・子育て・生活保護・地域の要求。何でもどうぞ！ ※予約が必要です

